

## フランス自転車市況－2010

### 1. 生産、輸出入

フランス自転車製造・流通業者評議会 (FIEV/CNPC) によると、2010年フランスの完成車の国内生産台数は前年比4.9%減の66.4万台に減少し、激しく落ち込んだ2009年の数値から更に減少する結果となり、フランスの自転車製造部門の苦戦は続いている。また、再輸出した輸入品を除く実質的な輸出台数は前年と同じ18.1万台であったが、輸入台数は前年比5.3%減の181万台に減少した。

表1: 完成車生産、輸出入 (単位:万台)

年	2006	2007	2008	2009	2010
生産	107.5	99.8	92	69.8	66.4
輸出	22.8	25	21.1	18.1	18.1
輸入	219.3	182.6	211	191.2	181

※サドルの地上最低高435ミリ以上の完成車のみ、玩具自転車は含まない

2010年の国内販売台数は前年比3.2%減の303.1万台となり、販売金額は前年比3.1%減の794.3百万ユーロ(91,345百万円)と販売台数と金額は共に減少したが、2010年の平均販売価格は262ユーロ(30,130円)と、僅か1ユーロ(115円)であるが前年より上昇した。ここ数年間の販売低迷期においても平均販売価格が横ばいで推移できた要因は、高額な電動アシスト自転車の販売が年々増加したこと、また、比較的高額なスポーツ車のロードレーサーやシティ車が堅調であったためとFIEV/CNPCではみている。なお、この平均販売価格には50ユーロ(5,750円)未満の玩具自転車(トイ・サイクル)も含まれている。

表2: 平均販売価格の推移

年	2006	2007	2008	2009	2010
平均価格	€ 235	€ 248	€ 262	€ 261	€ 262

なお、部品、付属品については、全業態で販売金額は前年比3.9%減の486.1百万ユーロ(55,902百万円)であり、完成車販売と同様に販売不振となった。項目別の販売金額シェアではフレームが前年より1ポイント減の4.5%、部品が1.5ポイント増の44.5%、付属品は前年と同じ30%及びその他サイクリング用品は前年より0.5ポイント増の21%であった。

## 2. 車種別販売動向

車種別販売台数では、MTBが同比1.4%減の83.2万台と小幅な減少にとどまり、ロードレーサーは同比3.4%増の16.6万台と復調する等、仏市場でのスポーツ車需要はいまだ根強い。しかしながら、シティ車も前年比13.2%増の27.6万台となり、過去5年間にわたり増え続けている。スポーツ車の人気が高い同国でも通学通勤等の日常の移動手段として自転車利用が年々増えているとみられる。一方で2009年増加に転じたMTB(20~24インチ)は前年比6.6%減の58.9万台と再び落ち込み、子供車は同比6.1%減の64万台、BMXは同比5.9%減の11.6万台と軒並み減少しており、更にトレッキング車は同比8.1%減の41.2万台とより落ち込んだ。

車種別の平均価格では、ロードレーサーが前年より21ユーロ(2,415円)増の1,188ユーロ(136,620円)に上昇したが、前年並みを維持した子供車を除き、他の車種はおおむね平均価格を前年より下げた。その中でも、MTBは前年より19ユーロ(2,185円)減の315ユーロ(36,225円)、BMXは23ユーロ(2,645円)減の179ユーロ(20,585円)と下げ幅が大きく、同じスポーツ車でも明暗を分けた。

なお、利用目的毎に再分類した場合、「移動用自転車」とされるシティ車、折りたたみ車及び電動アシスト自転車の市場シェアは、10年の期間で区切ると、2000年17%から2010年は27%と10ポイントも増加した。一方、「レジャー用自転車」としてのMTB、トレッキング車及び子供車の同シェアは2000年73%から2010年は63%に減少した。なお、「スポーツ用自転車」であるロードレーサー、MTB及びBMXは、過去10年間、10%前後のシェアを堅持している。

表3: 車種別国内販売台数 (単位:台)

車種	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
MTB	1,102,000	1,047,200	986,600	843,800	831,800
MTB(20~24インチ)	711,000	620,100	577,500	629,800	588,500
子供車	725,100	811,800	791,900	682,000	640,400
トレッキング車	499,500	493,900	510,300	448,900	412,500
ロードレーサー	184,800	199,400	187,200	160,900	166,300
シティ車	171,600	232,500	235,600	243,300	275,500
BMX	133,600	122,700	128,000	123,600	116,300
国内販売台数計	3,527,600	3,527,600	3,417,100	3,132,300	3,031,300

※国内販売台数には、サドル地上最低高435mm以下の完成車及び玩具自転車を含む

### 3. 業態別販売動向

販売業態別シェアのうち、年々シェアを伸ばしていた「大型販売店・大型スポーツ店（Decathlon、Go Sport 等）」は販売台数ベースで前年より 1.5 ポイントシェアが減少し、販売金額ベースでもシェアは 3 ポイント減少した。一方、自転車小売専門店の販売台数シェアは前年より 2 ポイント増加し、販売金額シェアも 3 ポイント増加し、自転車小売専門店は 2008 年以前の比率に戻りつつあり復調の兆しをみせた。なお、スーパーマーケット等の量販は過去 5 年間、販売金額では前年同様のシェアを維持したが販売台数ではシェアを僅かに減らした。

表 4: 販売業態別シェア(販売台数ベース)

販売形態	2006 年	2007 年	2008 年	2009 年	2010 年
大型販売店、大型スポーツ店	48.0%	50.0%	50.5%	52.5%	51.0%
自転車小売専門店	24.0%	23.5%	24.5%	22.0%	24.0%
スーパーマーケット、他	28.0%	26.5%	25.0%	25.5%	25.0%

表 5: 販売業態別シェア(販売金額ベース)

販売形態	2006 年	2007 年	2008 年	2009 年	2010 年
大型販売店、大型スポーツ店	36.0%	38.0%	37.5%	41.5%	38.5%
自転車小売専門店	53.0%	52.0%	53.5%	48.5%	51.5%
スーパーマーケット、他	11.0%	10.0%	9.0%	10.0%	10.0%

完成車の販売台数では、大型販売店、大型スポーツ店は 154.6 万台と最大数ではあるものの前年比 6.4% 減となった。2009 年に 2 割減となった自転車小売専門店は、2010 年は前年比 7.4% 増となり復調した。自転車小売専門店は更に独立系店舗とフランチャイズ・チェーン (FC) 系店舗に分けられるが、独立系店舗の販売台数は前年比 2.2% 増の 38.2 万台、FC 系店舗は同比 13.8% 増の 34.2 万台といずれも増加に転じた。

販売金額では、大型スポーツ店は前年比 15.5% 減と不振であったが、自転車小売専門店は同比 8.2% 増で復調した。そのうち独立系店舗は同比 2.9% 増、FC 系店舗は同比 14.1% 増となり、特に前年の落ち込みの激しかった FC 系店舗の回復ぶりが目立った。

表 6: 2010 年業態別売上台数・金額

販売形態	販売台数(台)	販売金額(千ユーロ)	完成車平均価格
大型販売店、大型スポーツ店	1,546,200	288,400	€ 187
自転車小売専門店	724,000	428,400	€ 592
[独立系店舗]	[382,300]	[213,700]	[€559]
[フランチャイズ系店舗]	[341,700]	[214,700]	[€628]
スーパーマーケット、他	761,100	77,500	€ 102
合計	3,031,300	794,300	€ 262

完成車の平均価格では、大型スポーツ店は前年より 20 ユーロ (2,300 円) 下落し、187 ユーロ (21,505 円) となり、年々上昇を続けてきた平均価格は下落した。自転車小売専門店は昨年より販売台数と金額が増え、平均価格は前年より 5 ユーロ (575 円) 上昇し 592 ユーロ (68,080 円) となった。そのうち独立系店舗は前年より 4 ユーロ (460 円) 上昇の 559 ユーロ (64,285 円)、FC 系店舗は 1 ユーロ (115 円) 増の 628 ユーロ (72,220 円) であった。高額車種の扱いが多い自転車小売専門店の平均価格は高く、大型スポーツ店との差は依然として開いたままである。

スーパーマーケット等の量販については、販売台数は 2006 年には 100 万台を超えていたが、年々減少を続け 2010 年は前年比 5.5% 減の 76.1 万台となった。販売金額も前年比 5.8% 減となったが、平均価格は前年と同額の 102 ユーロ (11,730 円) を維持した。

#### 4. 電動アシスト自転車

電動アシスト自転車 (EPAC) については、2010 年販売台数は前年比 60.3% 増の 38,000 台と大幅に増加した。業態別販売シェアでは、大型スポーツ店が前年より 5 ポイント増の 12% であった。自転車小売専門店は前年と同じ 57% で全体の半数以上のシェアであるが、そのうち独立系店舗が前年より 10 ポイント減の 26% となったのに対し、FC 系店舗は 10 ポイント増え 31% となり、両者の販売シェアは逆転した。また、量販店は前年より 5 ポイント増の 31% となり、FC 系自転車小売店と並び高い販売シェアを占めている。

同車種の平均価格については、量販店では依然として安価な EPAC が数多く販売されており、仏市場での同車種の平均販売価格は 750 ユーロ (86,250 円) 程とみられ、同車種がブームのドイツやオランダに比べ低い金額である。フランスでも EPAC の販売台数は年々増加してはいるが、EPAC 販売増が国内の自転車市場全体をけん引するまでには至っていない。

表 7: 電動アシスト自転車販売台数 (単位: 台)

年	2006	2007	2008	2009	2010
販売台数	6,000	9,700	15,300	23,700	38,000

2011年の仏自転車市場については、FIEV/CNPCでは今のところ見通しは不透明としている。フランスでは自転車はレジャーとして楽しむという傾向は依然として根強く、国民性や生活習慣等の違いから、ドイツやオランダのようなEPACブームとまではいかなくとも、近年、移動手段としての自転車利用も確実に増えており、今後はシティ車やEPAC等といった価格の高い移動用自転車の普及に期待を寄せている。

以上

統計出所： FIEV/CNPC

(国際業務部)